

大学生が将来のために 「財政」、「金融」について考える ～ in 名桜大学



財務部では、地域の皆さまへ、財務省や金融庁の施策をお伝えするため、出前講座を実施しています。今号では、7月24日に名桜大学（2～4年生45名）で行った財政・金融授業についてご紹介します。

授業では、最初に、「成年年齢引下げにかかる金融リテラシー」社会への扉を前に」と題して、契約における注意点、クレジットカードの仕組みや留意点、分割払いとリボルビング払いの手数料総額の比較、多重債務に陥らないための注意点等について説明しました。また、金融等のトラブルに巻き込まれないための基礎知識として、LINEやSNS等を通じた消費者トラブルの具体例を紹介するとともに、投資等の儲け話において、「必ず儲かる」、「絶対に大丈夫」という誘い文句や「海外の業者」、「自動売買ツール」などのワードに特に注意する必要があることを説明し、何かあった場合の相談窓口を紹介しました。

続いて、「（みんなの将来のために）財政について考える」と題して、日本では、少子高齢化により社会保障費が増加し続けているものの、その増加分を税収では賄えず、国の借金が増え続けていること、また、諸外国に比べ日本の社会保障は「給付（社会保障支出）に対して「負担（税・社会保障料）」が低く、高齢化に伴う社会保障の給付と国民負担の関係について、引き続き国民全体で議論していく必要がある



▲授業の様子

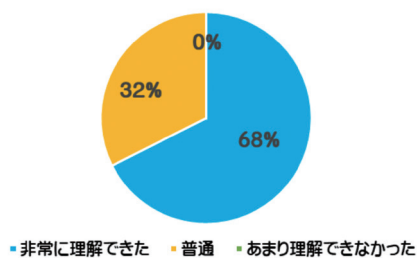


▲財務部職員による説明の様子

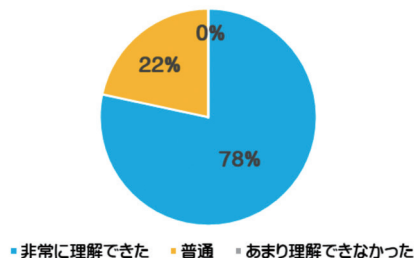
ることを説明した上で、一人ひとりが予算の使い方を真剣に考え、どのように財政のバランスを取っていくかを考えることが大切なこととお伝えしました。

事後アンケートでは、「クレジットカードの使い方を直そうと

Q「金融リテラシー」について、理解が深まりましたか。



Q「日本の財政」について、理解が深まりましたか。



思った」、「財政の現状について、普段勉強していることを振り返ることができて理解を深めることができた」等の感想が寄せられました。

財務部の出前講座については、左記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先
財務部 財務課（地域連携担当）
☎ 098-866-0091